

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 9 月 25 日 (2014.9.25)

【公開番号】特開 2013-51624 (P2013-51624A)

【公開日】平成 25 年 3 月 14 日 (2013.3.14)

【年通号数】公開・登録公報 2013-013

【出願番号】特願 2011-189552 (P2011-189552)

【国際特許分類】

H 0 4 R 1/10 (2006.01)

G 1 0 K 11/178 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 1/10 1 0 4 Z

H 0 4 R 1/10 1 0 4 E

G 1 0 K 11/16 H

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 8 月 11 日 (2014.8.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

L チャンネル音を放音する L チャンネル側ドライバユニットと、外部音を收音する L チャンネル側マイクロフォンと、上記 L チャンネル側マイクロフォンの收音信号に基づくノイズキャンセリング処理についての設定制御を行う L チャンネル側マイクロコンピュータとが少なくとも収納された L チャンネル側ハウジング部と、

R チャンネル音を放音する R チャンネル側ドライバユニットと、外部音を收音する R チャンネル側マイクロフォンと、上記 R チャンネル側マイクロフォンの收音信号に基づくノイズキャンセリング処理についての設定制御を行う R チャンネル側マイクロコンピュータとが少なくとも収納された R チャンネル側ハウジング部と

を備え、

上記 L チャンネル側マイクロコンピュータと上記 R チャンネル側マイクロコンピュータとが互いにデータ通信可能となるように構成されている

音響再生装置。

【請求項 2】

上記 L チャンネル側マイクロコンピュータ又は上記 R チャンネル側マイクロコンピュータの何れか一方がマスターコンピュータとされ、

上記マスターコンピュータは、

上記マイクロフォンによる收音信号に基づき、上記ノイズキャンセリング処理のモードとして何れのモードを設定すべきかを判定する NC モード判定処理を実行し、当該 NC モード判定処理で判定された NC モードを、同チャンネル側の NC 処理部に設定すると共に、他方のチャンネル側のマイクロコンピュータに対して通知する

請求項 1 に記載の音響再生装置。

【請求項 3】

上記マスターコンピュータは、

同チャンネル側の NC モードの切り替えタイミングと他方のチャンネル側の NC モードの切り替えタイミングとが一致するように制御を行う

請求項 2 に記載の音響再生装置。

【請求項 4】

上記 L チャンネル側マイクロコンピュータ又は上記 R チャンネル側マイクロコンピュータの何れか一方がマスターコンピュータとされ、

上記マスターコンピュータは、

他方のチャンネル側のマイクロコンピュータの異常を検知し、異常が検知されたことに応じた処理を実行する

請求項 1 乃至請求項 3 の何れかに記載の音響再生装置。

【請求項 5】

上記マスターコンピュータは、

上記異常として、上記他方のチャンネル側のマイクロコンピュータからの応答が無いことを検知し、異常が検知された場合は、自らをオフ状態とする

請求項 4 に記載の音響再生装置。

【請求項 6】

上記 L チャンネル側マイクロコンピュータの動作電源となる電池が上記 L チャンネル側ハウジング部内に収納され、上記 R チャンネル側マイクロコンピュータの動作電源となる電池が上記 R チャンネル側ハウジング部内に収納されている

請求項 1 乃至請求項 5 の何れかに記載の音響再生装置。

【請求項 7】

上記 L チャンネル側マイクロコンピュータ又は上記 R チャンネル側マイクロコンピュータの何れか一方がマスターコンピュータとされ、

上記マスターコンピュータは、

双方のチャンネルの電池残量が十分であるか否かを判別し、一方でも電池残量が十分でないとされる場合は、自チャンネル側と他チャンネル側の双方がオフ状態となるように制御を行う

請求項 6 に記載の音響再生装置。

【請求項 8】

上記 L チャンネル側マイクロコンピュータ又は上記 R チャンネル側マイクロコンピュータの何れか一方がマスターコンピュータとされ、

上記マスターコンピュータは、

起動指示が行われた場合、他方のチャンネルのマイクロコンピュータに電池残量を通知させ、双方のチャンネルの電池残量が十分であるか否かを判別した結果に基づき、双方のチャンネルがオン状態となるように制御を行う

請求項 6 又は請求項 7 に記載の音響再生装置。

【請求項 9】

電池残量についての表示を行う表示部をさらに備え、

上記 L チャンネル側マイクロコンピュータ又は上記 R チャンネル側マイクロコンピュータのうち少なくとも一方が、L チャンネル側又は R チャンネル側のうち少ない方の電池残量が上記表示部に表示されるように制御を行う

請求項 6 乃至請求項 8 の何れかに記載の音響再生装置。

【請求項 10】

上記電池残量についての表示制御を起動時に実行する請求項 9 に記載の音響再生装置。